

「過去をより遠くまで振り返ることができれば、
未来もそれだけ遠くまで見渡せるだろう」

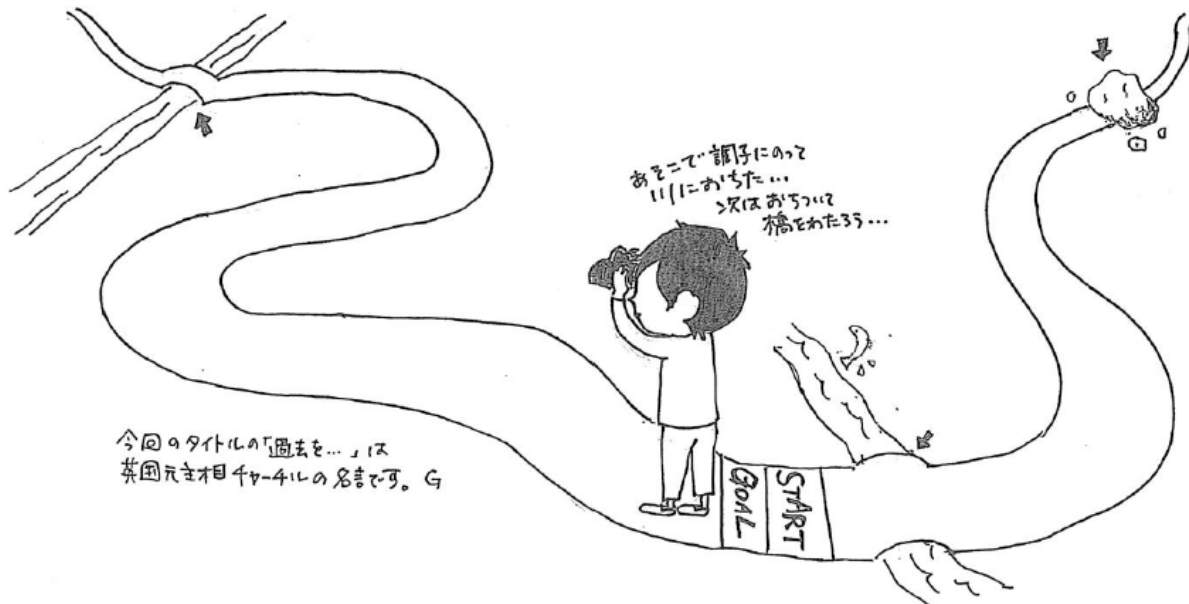
喜茂別町立喜茂別中学校 校長 午来 睦美

令和3年度夏季中体連地区大会が、7月4日の剣道大会を残して終了いたしました。今年度の中体連は無観客開催という条件のため、保護者の皆様には最後の雄姿を見ていただくことができませんでしたが、日々様々な面から支えていただきまして本当にありがとうございました。

さて、今年度のメンバーとの最後の試合が終了し、寂しい気持ちや抜け殻のような気持ちに陥っている人がいるかもしれません。また、達成感を味わった人もいれば、不完全燃焼に終わった人もいるかもしれません。試合に勝った負けたはつきものなので、勝敗そのものでみなさんの頑張りを量ることはできません。会場を見学して、一つだけ間違いないことは、全員が真剣に競技に参加していたということです。

しかし、ものごとの終わりというのは、次のものごとの始まりでもありますので、こうした節目に「これまでの自分」を振り返ってみることはとても大切です。過去の自分には、未来の自分を成長させるヒントがたくさん存在するからです。自分の感情に左右されずに、客観的に、過去の自分を見つめましょう。多少反省することもでてくるでしょうが、そのことで、これから自分が何をどうしたらよいのか見通すことができるのです。

やることが決まったら、たくましく進むのみ、です。



陸上競技大会

大会テーマ 「一秒懸命」

5月29日(土)に開催を予定していた陸上大会は、雨天のため翌30日(日)に延期して実施しました。当日は、この時期としては気温がやや低く風も吹いているような状況ではありましたが、晴天に恵まれ2年ぶりに校内陸上競技大会を開催することができました。1年生、2年生にとっては初めての陸上競技大会。コロナウイルス感染症対策として、縦割りや団体の種目を削減して規模を縮小したり、声を出さずに拍手で仲間を応援したりするなど、知恵と工夫をこらした大会となりました。このような中、生徒達はカー杯走って跳んで投げて、自分の記録や限界に挑戦し、真剣に、そして楽しく、熱い戦いが繰りひろげられました。



ICT 活用中

今年度、国語科ではデジタル教科書が導入され、これを活用した学習が進んでいます。また、生徒用端末のMicrosoft teamsのオンライン会議機能を使って、緊急事態宣言中でも全校朝会や中体連壮行会などの活動を集会に代替して行うことができました。



健闘！後志中体連

6月23日(水)～28(月)にかけて、3年生は最後となる中体連後志大会が後志管内各地で開催されました。今年度は感染症対策としてすべての競技が無観客試合で行われる中、ここまでバドミントン、卓球、軟式野球と3競技に喜中の代表として参加し、最後まであきらめずに戦い抜きました。

主な結果は次の通りです。

[バドミントン] 女子団体1回戦 喜茂別1-2神恵内
個人戦 ダブルス 中村・松橋組ベスト8

シングルス 長谷川ベスト16、穂刈2回戦進出

[卓球] 男子団体予選G3位、女子団体予選G3位

個人戦 男子 齊藤2回戦進出、

女子 今関3回戦、松田2回戦進出

[野球] 1回戦 喜茂別・京極 1-4 倶知安

なお、剣道大会は7月4日(日)に行われます。